

令和7(2025)年度埼玉大学教養学部 第3年次転学部試験要項

1. 出願資格・受入人数

- ① 出願資格 出願時において、32単位以上修得済の者で、転学部時点において在学期間（休学期間を除く）が2年以上6年以下の者。
- ② 受入人数 若干名。

2. 募集する専修課程・専攻

以下の各専修課程の受入人数は、それぞれ若干名です。

- ① グローバル・ガバナンス専修課程（国際関係論専攻、国際開発論専攻）
- ② 現代社会専修課程（社会コミュニケーション専攻、地理学文化人類学専攻）
- ③ 哲学歴史専修課程（哲学専攻、芸術論専攻、歴史学専攻）
- ④ ヨーロッパ・アメリカ文化専修課程（ヨーロッパ文化専攻、アメリカ研究専攻）
- ⑤ 日本・アジア文化専修課程（日本文化専攻、東アジア文化専攻）

3. 試験方法

選考は、第1次選考の学力検査、第2次選考の面接および成績証明書等提出書類の総合評価により行います。

第1次選考	学力検査
第2次選考	面接

4. 試験会場および受験案内

試験会場は、埼玉大学内に用意します。集合場所や集合時間等の詳細は、受験票と同時に発送する「受験者心得」に記載してありますので、「**受験者心得**」を熟知のうえ、受験してください。

5. 第1次選考・日程

日 程	検査科目	時 間
11月9日（土）	学力検査 （別表（3頁）参照）	9時30分～11時00分

6. 第1次選考合格者発表

令和6年11月9日（土）17時30分（予定）

合格者の受験番号を教養学部ホームページ上（<http://arts.kyy.saitama-u.ac.jp/index.html>）で発表します。また同日同時刻頃に、教養学部棟1階掲示板にも受験番号を掲示します。

7. 第2次選考・日程

第1次選考合格者に対して、面接を行います。

面接は基本的に日本語で行いますが、必要に応じて一部を外国語で行うことがあります。

日 程	検査科目	時 間
11月10日（日）	面 接	9時30分～

8. 提出書類

次の書類を所属学部の指示する出願期間内に、所属学部の学部係に提出してください。

- ① 埼玉大学教養学部転学部試験受験票・写真票
- ② 転学部願
- ③ 学生調書
- ④ 成績証明書
- ⑤ 受験票送付用封筒（各自で用意）
（定形（長形3号）封筒に送付先住所・氏名を明記し、110円切手を貼付すること。）
- ⑥ その他所属学部が必要と認める書類

9. 過去問題の閲覧について

第1次選考（学力検査）の過去問題3年分は、教養学部係窓口にて閲覧可能です。（平日8時45分～16時45分）また、一時的な過去問題の貸し出しは可能ですので、学内にあるコンビニエンスストアなどで適宜コピーを取っていただいても構いません。その際は、本人確認書類（学生証など）を一時的にお預かりします。

なお、過去問題の郵送やメールによる送付は行っていません。また本試験の内容は、本要項に記載のとおりです。記載事項以外の内容は回答いたしかねますので、ご了承ください。

別表 第1次選考（学力検査）

専修課程	筆記試験
グローバル・ガバナンス専修課程	<p>問題は、①と②から構成される。</p> <p>① 国際関係論・国際開発論分野の英文（出典は学术论文や学術書）を読み、複数の設問に解答する問題。</p> <p>② 国際関係論または国際開発論に関連した特定のテーマについて論述する問題。</p>
現代社会専修課程	<p>英語試験と小論文を課す。</p> <p>英語試験は、現代社会専修課程の関連分野を内容とする英文の解釈問題である。</p> <p>小論文は現代社会専修課程の関連分野に関する特定のテーマについて論述する。</p>
哲学歴史専修課程	<p>哲学、芸術論、歴史学の3分野のうち、1分野を選んで解答する。</p> <p>① 哲学分野では、哲学に関する英文の問題に解答する。</p> <p>② 芸術論分野では、芸術論に関する英文の問題に解答する。</p> <p>③ 歴史学分野では、(1)歴史学全般にかかわる論述問題、(2)日本史・東洋史・西洋史・考古学の個別分野に関する史資料読解問題（選択問題）、の両方に対し、解答する。外国語問題の出題も含まれる。</p>
ヨーロッパ・アメリカ文化専修課程	<p>ヨーロッパ関連、アメリカ関連の2群の問題から選択解答する。</p> <p>① ヨーロッパ関連は2問。(1)ヨーロッパの文化と社会に関して論述する問題、および個別事項を簡潔に説明する問題、(2)英・独語からいずれか1つを選んで和訳する問題。</p> <p>② アメリカ関連は1問。英語の文章を読み、設問について論述する。</p>
日本・アジア文化専修課程	<p>問題は、2問出題する。</p> <p>第1問は、日本語の小論文の問題。</p> <p>第2問は、日本・アジア文化に関する個別事項を選択し、簡潔に説明する問題。</p>

※いずれの専修課程も辞書持ち込み不可。

10. 合格者の発表

令和6年12月3日（火）14:00以降

Web 学生システムの切り替えがあるため、合格発表の方法は未定です。方法が決まりましたら出願者にお知らせします。合格発表後、合格者には正式に合格通知書等をお渡しします。掲示による合格発表は行いません。

注）電話での合否結果の問い合わせには、一切応じられません。

11. 教育職員免許取得希望者への注意

教育職員免許状を申請する資格を取得しようとする者は、教育職員免許法および教育職員免許法施行規則に定める所定の単位を修得することが必要です。

「教職実践演習」の履修にあたっては、単位を修得した科目の「履修カルテ」を作成し、担当教員の確認を受けていることが必要です。

教養学部において資格申請できる教育職員免許状の種類は、次のとおりです。

免許状の種類（教科）
中学校教諭1種免許状（国語・社会・外国語（英語））
高等学校教諭1種免許状（国語・地理歴史・公民・外国語（英語））

教育実習を行う場合は、その前年度の4月に申請を行うことになっており、申請時の条件として以下の単位を修得していなければなりません。

- a 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（日本国憲法・体育・外国語など）4単位以上
- b 「教職に関する専門科目」10単位以上
- c 「教科に関する専門科目」10単位以上
- a、b、c合わせて30単位以上

※ 「教職に関する専門科目」は、教養学部では卒業に必要な単位として認定されません。

12. 過去の転学部試験実施状況

令和	2	（2020）年度	出願者	2名	合格者	1名
令和	3	（2021）年度	出願者	1名	合格者	1名
令和	4	（2022）年度	出願者	2名	合格者	2名
令和	5	（2023）年度	出願者	1名	合格者	1名
令和	6	（2024）年度	出願者	1名	合格者	0名

問い合わせ先

教養学部係 電話 048-858-3044

（平日8時45分～16時45分）

受験票・写真票 記入上の注意

1. 黒インクのペン又は黒のボールペンを使用し、文字は楷書、数字は1.2.3.の算用数字を用いて、ていねいに記入すること。
2. 該当個所をもれなく記入すること。
3. ※印の欄は記入しないこと。
4. 受験票と写真票の写真は、同じものを貼付すること。
5. 受験票・写真票提出後の記入事項の変更はできない。
6. 本票は、きりとり線で切り離して提出すること。
7. 志望専修課程名及び志望専攻名は、次の中からそれぞれ1つ記入すること。

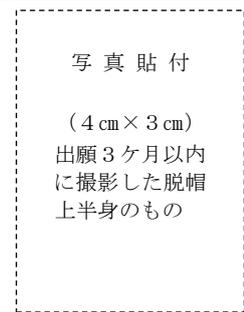
- ①グローバル・ガバナンス専修課程
 - 国際関係論専攻
 - 国際開発論専攻
- ②現代社会専修課程
 - 社会コミュニケーション専攻
 - 地理学文化人類学専攻
- ③哲学歴史専修課程
 - 哲学専攻
 - 芸術論専攻
 - 歴史学専攻
- ④ヨーロッパ・アメリカ文化専修課程
 - ヨーロッパ文化専攻
 - アメリカ研究専攻
- ⑤日本・アジア文化専修課程
 - 日本文化専攻
 - 東アジア文化専攻

令和7年度 埼玉大学教養学部 転学部試験 受験票

受験番号	※
------	---

氏名	
----	--

志望専修課程名	
志望専攻名	



◎注意

1. 受験の際はこの受験票を必ず持参すること。
2. 氏名は本人が記入すること。
3. この受験票は転学部時まで保存すること。

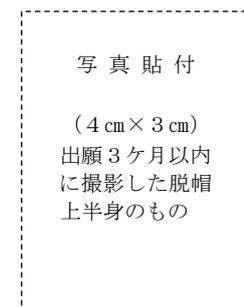
きりとり線はなさない

令和7年度 埼玉大学教養学部 転学部試験 写真票

受験番号	※
------	---

氏名	
----	--

志望専修課程名	
志望専攻名	



転 学 部 願

年 月 日

埼玉大学長 殿

(志望者)

	学部	課程 学科	専攻	年次
学籍番号				
氏 名				
現住所	〒			
電話番号	自 宅 携 帯			

(保証人)

氏 名
現住所 〒
電話番号 自 宅
勤務先等
本人との関係

下記のとおり転学部を志望しますので、関係書類を添えて願ひ出ます。

記

志望学部	教養学部 教養学科	専修課程	専攻
転学部を志望する理由			
年 月 日	学 歴		
特 記 事 項			
指導教員等 所 見 欄	指導教員等氏名（署名）_____		

(注) 学歴欄は、高等学校卒業から現在までを記入すること。

